

皆さん、こんにちは！SO日本ドリームサポーターの寺尾悟です。

2006年のトリノオリンピックに出場した私、寺尾悟が、19年を経て再びこの地で感じたこと。それは、今回のスペシャルオリンピックス冬季世界大会・トリノが、単なる大会に留まらず、「もうひとつの世界大会」としての価値を持っているということです。

私はかつて、オリンピックという舞台で夢を追い、成し遂げた喜びや悔しさを知っています。しかし、スペシャルオリンピックスを通じて感じたスポーツの魅力は、結果だけではないことを改めて実感しました。

むしろ、その過程こそがスポーツの本当の魅力だと感じる瞬間が多くありました。競技を通して、お互いに声を掛け合い、成長し合いながら、共に前へ進んでいくことが、何よりも価値のあるものだとすることを痛感しました。

また、今回、南アフリカトヨタ勤続13年のパラリンピック・砲丸投げ選手であり、現在TME（欧州トヨタ）で、スポーツ&アスリートサポートの部署に所属するタイロン・ピレーさんと交流する機会があり、オリンピック、パラリンピック、スペシャルオリンピックスのつながりを肌で感じる事ができました。トリノの地で感じた「もうひとつの世界大会」という言葉には、競技としての成績やメダルの色だけでなく、人と人が心を通わせることで生まれる絆や感動が詰まっています。これからも私は、この活動を応援し続け、ユニファイドスポーツ®の可能性をさらに広げ、より多くの人々に「共に楽しむ」ことの素晴らしさを伝えていきたいと思っています。

そして、この活動に少しでも興味を持っていただけたら、ぜひ一歩を踏み出してほしいと思います。スペシャルオリンピックスに関連するイベントや、ボランティアとして参加できる機会もたくさんありますし、私たちと一緒にこの活動を盛り上げていければ嬉しく思います。皆さんの応援とご参加を、心からお待ちしております。



◆3/21(金)のトヨタタイムズスポーツの放送でもスペシャルオリンピックスを紹介予定。

トリノでの体験や感動をお届けする貴重な機会ですのでぜひご注目ください。